SASUE LIBRARY　TAKANOSU LIBRARY

Pick Up New publication

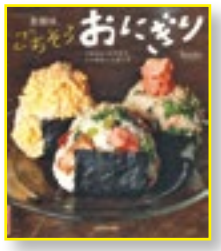
# BOOK

## 町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中からおすすめのものを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。

### 町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



**「主役は、ごちそうおにぎり」**

著　Ｔｅｓｓｈｉ

眺めて楽しい、読んでるとお腹がすいてくる・・・そんなおにぎりの本。自分で作って食べてみませんか？ごちそうおにぎり。

### 町立 指江図書館

TEL0996-88-6500

**「髪がつなぐ物語」**

著　別所　芳子

長くのばした自分の髪を寄付する「ヘアドネーション」寄付された髪はどのように使われるのでしょうか。

# 長島文芸

Nagashima Bungei　ながしまぶんげい

## 明神俳句会

絡まれし女のことも桜桃忌　　淵脇　護
削蹄の牛おとなしく青嵐　　二階堂妙子
夏至の日や墓のポンプの誘ひ水　　白男川孝仁
透きとほるゼリーの中のさくらんぼ　　山嵜加代子
父の日や手もちぶさたに爪を切る　　二階堂恵子
くまモンの一両電車青嵐　　迫口　君代
夏来たる試し履きする磯シューズ　　大堂　正弘
紫陽花の名はダンシング古希祝う　　大堂　早苗
夏風に向ひて漁船出港す　　関　佳代美
青嵐解答用紙宙に浮く　　脇田　武志
花びらの浮かぶ菖蒲田夕日差す　　坂口　静子

## 創世短歌会

薪風呂に内と外との声はずみ旅人家族の会話が聞ゆ　　竹之内重信
花菖蒲咲きたる如く夕暮の植田の畦に群るる白鷺　　宮元　司
朝に夕に呼びいし猫の老い死にて隣の媼の声を聞くなし　　石原百合子
菜園の日向の中に草むしる妻が残せし帽子かぶりて　　野村　益信
今宵湯に大きく手足伸ばしけり馬鈴薯の収穫終りたる夜　　大塚　洋子
独り居を寂しくないと言いし友わかる気がせり我も独り居　　村上　義彦
ぎいと開きぎぎいと閉る裏の戸を二回くぐりて今日が終れり　　山下　学

## 長島短歌会

害虫に喰はれて消えし松の古木その風音を若き等知らず　　浜畑　松枝
癒さるる明日のあるごと天草に沈む夕日は胸に響けり　　松元　睦子
幾年(いくとせ)をわが行き来せし畦道の工事進みても思ひ見る　　市尾　操
古希越へしばかりに逝きし人ありて柩を同窓ら抱きをりたり　　岩下　ち江
頬白(ほほじろ)が羽根膨らませ電線に囀(さえず)りてをり梅雨間の青空　　樫平　頼子
燕来ぬ梁(はり)の古巣を見上げをりくちなはに雛(ひな)を喰はれし去年(こぞ)よ　　米尾　和子
ピーマンを初めて植ゑし友は今朝一つ生りしと両手に抱く　　坂之下典子
梅雨晴れの水田は澄みてひと片(ひら)の雲緩(ゆる)やかに流るを映す　　中山タマエ
病む吾子を案じて幾夜眠られず窓あけ見れば海鳴りしきり　　浜田美代子

## 一般作品

［短歌］

堂崎は島津の殿が住みし処岩壁険し城を守りぬ　　小林　貢
丹精を込めいる花のしおるれば敵(かたき)は見えねど蛞蝓(なめくじ)の跡
梅の実を甘露煮せんと一つづつ切れ目入れれば香り広がり　　中仮屋辰子
悪口を一切言はず生きし友折にふれては我と比ぶる　　母木　良平
人間は愛する心大切や愛されるなら宝なるかな　　町田　末則

［俳句］

苦瓜の何処かに秘めし瓜の味　　宗方　清明